

「安心して暮らしやすいまち」の実現に向けたAIオンデマンド交通実証運行事業

応募様式A

能代市AIオンデマンド交通推進共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	能代市
事業実施地域	能代市中心市街地エリア
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ 地域・移住 ・ エネルギー・環境 ・ 観光・まちづくり ・ その他（災害対応）
共創パートナー	市、特定非営利活動法人 能代観光協会、合同会社のしろ家守舎、能代逸品会、株式会社テラタ、独立行政法人 地域医療機能推進機構 秋田病院、風の松原自然エネルギー株式会社、秋北タクシー株式会社、合資会社第一タクシー、能代観光株式会社
運行形態	①実証事業として運行する交通モード（A I オンデマンド交通）
運行主体	市内タクシー事業者（秋北タクシー(株)、（資）第一タクシー、能代観光(株)）

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

- ・能代市の中心市街地エリアでは路線バスや巡回バス等多様な公共交通が乗り入れているが、部分的に交通空白地が生じている状況がある。また、総合戦略に関するアンケート結果では、公共交通の利便性に関し「不満」との回答が5割を超えており、若年層の地元定着や高齢者等の移動手段の確保、公共交通における人材不足等の観点からも利便性が高く、効率的な輸送手段の導入が必要となっている。
- ・こうした状況を踏まえ、本市では令和5年11月及び12月の2か月にわたりA I オンデマンド交通「まちなかコサクル」の実証運行を行い、2か月で延べ2,911人の利用があった。しかし、一般タクシーの利用者、収益減にも繋がったことを踏まえ、再度実証運行を行い料金の値上げによるタクシー事業への影響を検証する。

地域公共交通計画への位置づけ
（位置づけ予定を含む）

有

運輸局・運輸支局への事前相談

東北運輸局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

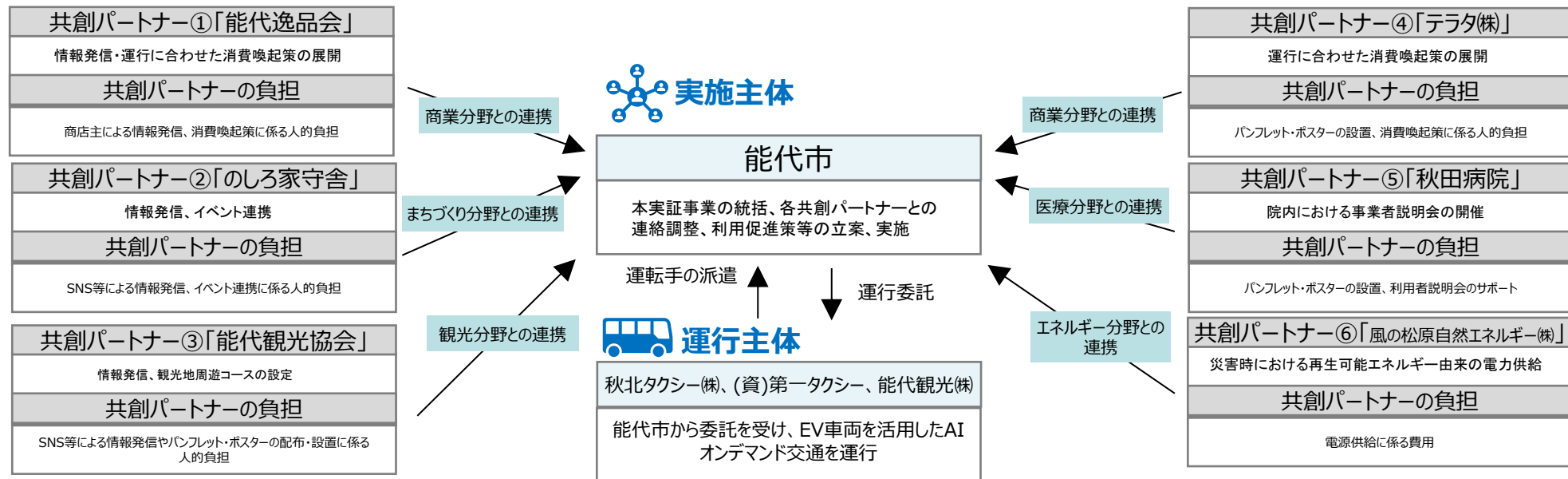
有の場合、令和5年度事業における課題を明確にしたうえで、発展させて取り組む内容※を具体的に記載してください。
※新たな分野との共創（他分野共創のタイプの拡充）や交通モードの拡充（運行形態の追加・変更）、事業実施地域の変更（対象路線の追加、運行区域の拡充等）

「安心して暮らしやすいまち」の実現に向けたAIオンデマンド交通実証運行事業

応募様式A

能代市AIオンデマンド交通推進共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

- ・中心市街地エリア内でのアクセス向上を図るため、AIオンデマンド交通を運行するとともに、同地域における商業団体、地元スーパー、まちづくり事業者との連携により地域の活性化を図る他、通院、買物、観光時等の移動手段としての利用促進を図る。
- ・災害発生時には市内の風力発電事業者から電力供給を受け、物資の輸送及び電力供給手段としてEV車両を活用する。

(地域の関係者との連携・協働)

- ・関係者との連携、協働により、地域の移動手段としての定着が促進されるほか、外出機会の創出や自家用車依存からの脱却等に繋がる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

- ・中心市街地を運行する路線バスや巡回バスを補完する新たな公共交通としての役割を担う。

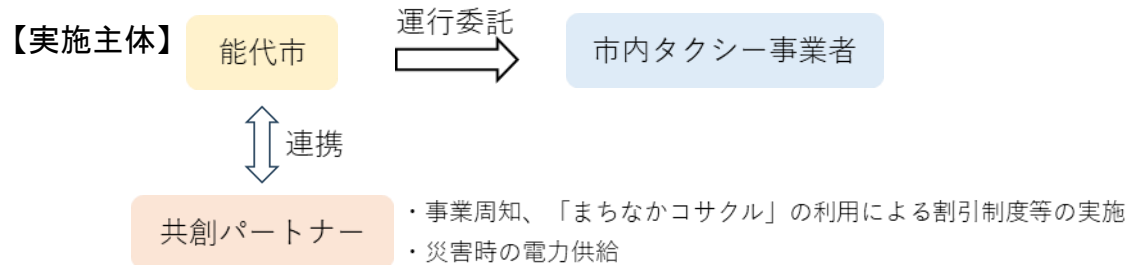
「安心して暮らしやすいまち」の実現に向けたAIオンデマンド交通実証運行事業

応募様式A

能代市AIオンデマンド交通推進共創プラットフォーム

事業実施手順・スケジュール

本実証では能代市が事業主体となり、令和6年12月から令和7年3月までAIオンデマンド交通の実証運行を行う。運行前の令和6年10月からは各共創パートナーとの連携により周知活動を展開し、併せて運行事業者とともに運行に係る事前のトレーニング等を運行開始までに行う。運行開始後は、各共創パートナーとの連携により、利用促進施策等を展開する。



実施主体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
能代市				関係者との協議・調整、各種契約業務					運行主体、共創パートナーとの事業実施・検証			
運行主体								実証運行				
能代逸品会							事業周知		消費喚起施策等の展開			
合同会社のしろ家守舎							事業周知		各種イベントとの連携による周知			
能代観光協会							事業周知					
株式会社テラタ							事業周知		消費喚起施策等の展開			
秋田病院							事業周知					
風の松原自然エネルギー(株)							有事の際の電力供給					

「安心して暮らしやすいまち」の実現に向けたAIオンデマンド交通実証運行事業

応募様式A

能代市AIオンデマンド交通推進共創プラットフォーム

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

- ・新たに便利な公共交通が導入されることに加え、消費喚起施策や各種イベントとの連携を図ることで、普段公共交通を利用しない層の掘り起こしに繋がるとともに外出機会の創出に繋がる。
- ・中心市街地において存在する部分的な交通空白地の解消、中心市街地エリアにおける輸送の効率化に繋がる。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

- ・地域における移動の総量の増加、まちのにぎわいに繋がる他、地域経済の活性化が図られる。
- ・移住者や免許返納者等車を持たない人の移動手段が確保され、暮らしやすい生活環境の構築に繋がる。
- ・再生可能エネルギー由来の電力を活用することによる災害への備えやサステナブルな社会の実現が図られる。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

☐	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	☐	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

令和6年度（第2回実証運行）：料金を値上げし、適正料金及び一般タクシーに与える影響の検証

令和7年度（第3回実証運行）：第2回実証運行結果を踏まえ、運行期間を1年間とし継続的な本格運行を見据えた体制整備等

令和8年度（本格運行）：他公共交通とのバランス、財政負担等を考慮しながら本格運行に移行する

資金面	本実証に係る運行経費等については、能代市における一般財源から支出
人材面（運転手の確保）	運行事業者の人材確保の状況を見極めつつ、必要な支援について随時検討する